

美味しい紅茶の淹れ方支援 WebDB システム

025101 小林 悠佑

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

紅茶には多種多様な茶葉や淹れ方が存在しているが、飲む人によって異なる“嗜好”があり、自分好みの茶葉・淹れ方をみつけにくいという問題がある。更に、書籍を買うにはコストがかかり、インターネットの検索では欲しい情報が得られるかについて疑問が残る。

2. 目的

それらの問題を解決し、誰もが高い品質の紅茶を淹れられるようにするには、紅茶を淹れるための情報を共有する場があれば良いと思い、「美味しい紅茶の淹れ方支援 WebDB (データベース) システム」を構築した。

まずシステムは茶葉や淹れ方の一般的な情報を提供し、それらに対してユーザから送信される評価やコメントを蓄積する。これによって、書籍やメーカーから与えられる一元的な情報だけでなく、多くのユーザの評価を取り入れた、より客観的な情報を提供できると考えた。

3. システム構成

本システムは主に淹れ方検索・茶葉検索の2つの検索システムで構成されており、淹れ方検索の結果表示画面に評価・コメントの送信、閲覧機能が付随している。

淹れ方検索システムは、ユーザが条件設定画面で茶葉の種類と濃さを選択すると、図1で示すように茶葉DBから茶葉の情報を、評価DBから評価・コメントをそれぞれ取り出し、結果画面に表示する。

検索条件設定画面で選択できる検索条件は、茶葉名と濃さの2つのみであり、簡素で選択しやすくした。また、ページデザインは単純明快でわかりやすくした。

ユーザが実際に紅茶を淹れてみた結果の評価とコメントを送信すると、それらは評価DBに蓄積される。このようにして本システムに、多くの評価が集まるようになっていく。

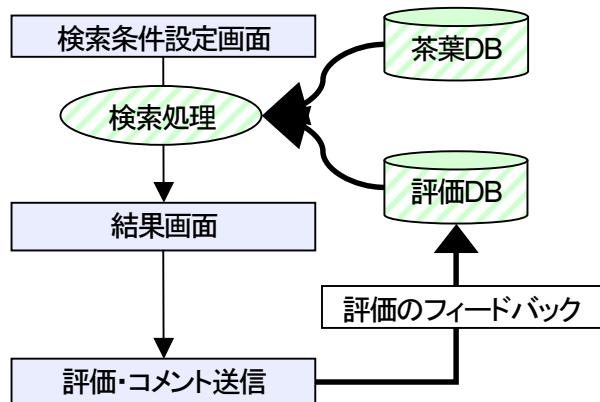


図1 淹れ方検索・処理の流れ

4. 評価

普段紅茶は淹れるがPCは扱わない年齢層と、PCは扱うが紅茶を淹れない年齢層のユーザから評価を得る為に、紅茶を淹れ慣れたユーザ1名と紅茶淹れ慣れていないユーザ1名の2名に本システムを試用してもらった。

その結果、上記両名から共通して「全体を通して非常にわかりやすく、問題なく扱える」という評価を得られた。このことからPCの操作に不慣れな人でも、紅茶にあまり精通していない人でも本システムを使い、紅茶を淹れられるという事が確認できた。

5. まとめ

わかりやすいシステムにした事で、誰もが高い品質の紅茶を安定して淹れられるという目標を達成する事ができた。今後の課題として旬の茶葉を検索する機能・茶葉の鮮度に合わせた淹れ方を検索する機能・A4用紙用のページデザインなどが残されている。